

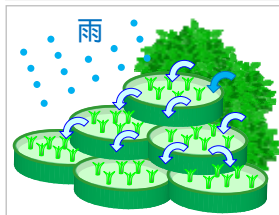
やまがたの棚田20選

山形県は、平成20年2月に棚田の魅力を再認識するとともに、付加価値のある資源として磨き上げ、次世代へと継承していく取組みとして、「やまがたの棚田20選」を認定しました。

本号では、棚田の素晴らしさや、それを守る地域の活動を紹介するために、「やまがたの棚田20選」を特集します。

やまがたの棚田20選認定地区

図番号	名称	ふりがな	所在地
1	蔵王上野	ざおううわの	山形市
2	蔵王駒鳴	ざおうこまなかせ	山形市
3	蔵王山田	ざおうやまだ	山形市
4	小倉	おくら	上山市
5	田麦野	たむぎの	天童市
6	大蔵	おおわらび	山辺町
7	椹平	くぬぎだいら	朝日町
8	中沢	なかざわ	村山市
9	高橋	たかはし	尾花沢市
10	明光寺	みょうこうじ	尾花沢市
11	大浦	おおうら	大石田町
12	四ヶ村	しかむら	大蔵村
13	片倉	かたくら	戸沢村
14	与吾屋敷	よごやしき	戸沢村
15	海上	かいしょう	高島町
16	虚空蔵山	こくぞうやま	川西町
17	中山	なかやま	白鷹町
18	深山	みやま	白鷹町
19	毛下野	けげの	飯豊町
20	大網	おおあみ	鶴岡市
21	暮坪	くれつぼ	鶴岡市
22	越沢	こえさわ	鶴岡市
23	たらのき代	たらのきだい	鶴岡市



見直される食料生産の場

棚田では、きれいな水を使い手間ひまをかけて消費者に食料を提供してきました。しかし、非効率で多くの労力がかかるため棚田は荒廃の危機に立たされています。一方で棚田への関心が高まり、棚田を応援しようという人たちの輪も広がってきています。

ふるさとの美しい景観

棚田は、先人達が山あいの土地を地形に合わせて田をひらき、沢水を引いて米作りを続けてきたところです。棚田を前にすると、なぜかなつかしく、心がなごむことから日本の原風景とも言われています。今では、文化的、芸術的価値が認められてきています。

貴重な生物の宝庫

里山と平地水田の境にあるのが棚田です。広葉樹林やため池、水路や田んぼなどの一連の空間に、水生動植物をはじめ貴重な自然環境が残されています。農業体験や自然とふれあう環境学習の場として再認識されています。

水と土砂の調節機能

棚田は、家の屋根に洗面器を水平に敷きつめたようなものです。強い雨が降っても、いくつもの洗面器で水をため少しずつ流していくので雨どいがあふれずにすみます。大雨で土砂が流されるのを防いだり、地表の水を地下水として蓄えたりする機能も持っています。